

株式会社エフエムなかそらち番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和 8年 1月26日(月)

2.開催場所 滝川市まちづくりセンター『みんくる』

3. 審議委員 委員数 7 名

【出席 6 名】 委員長:田中 一徳

委員:前田 綾子、笠原 直巳、深瀬 朝美、大野 重定、川口 裕史

【レポート提出 1名】 委員:宮森 彩衣果

【放送事業者側出席者】 山口 清悦、めい

4. 議題 番組審議 『演歌うたごころ』

毎週火曜日 本放送 11:00~11:30/毎週日曜日 再放送 22:30~23:00

5. 議事の概要 番組審議委員の該当番組に対する意見聴取

6. 審議(議事)の内容

- ・全体として落ち着いた雰囲気構成されていて、安定感ある番組だと感じた。
- ・一方で、もう少しエネルギーや躍動感が伝わる語り口で、演歌の持つパワーが感じられる場面があると、より良いのではないかと感じた。ただ、落ち着いて聞きたいという方もいらっしゃると思うので、あくまで個人的な感想です。
- ・番組の中で多くの楽曲が紹介されていた点は良かったが、選曲の意図や背景についてももう少し踏み込んだ説明とかが加わると、より番組に対してファンがつくのではないかと感じた。
- ・季節を感じる前段(ゆずの花、ゆず湯、かぼちゃの話)があったのが良いと思った。
- ・冒頭の番組説明で、テンプレートのところを噛んでしまっていたので、もったいないなと思った。また、どんな番組なのかという簡単な説明があるとより良いと思う。
- ・喋り方がすごくカクカクしているのが気になり、もっと滑らかになるといいなと思った。声がすごく優しくて穏やかな口調なので、少し改善するだけでとても魅力的になると思う。
- ・選曲の理由や、楽曲・歌手の紹介がもっとあっても良いと思った。
- ・番組全体の雰囲気として、しっとりとしているので、もう少し盛り上がるポイントを作るなど、抑揚があってもいいように思った反面、穏やかで落ち着いたテンションで聴けるのもこの番組の良さだなと思った。
- ・すごく穏やかな感じの方で、聞きやすい声だと感じた。日常の何気ない会話は楽しく聞けた。選曲の理由や、歌手の話、ご自身の思い出などの説明がなかったような気がするので、もう少しその曲の説

明が欲しいと思った

- ・デュエットに絞ってみたりとか、雪をテーマにしてみたりと、テーマを決めて曲を流すのは良いと思った。
- ・話し方の間合いが独特というか、話の途中で途切れるような感じがして気になった。

独特の間がある人だなというふうに思った。

- ・演歌について、聞いたことがない歌でも、演歌だと耳に入ってきてやすいなと改めて感じる事ができた。

・曲の番組編成として、演歌だけが流れる演歌の専門番組があるのがすごく良いと思った。

・トークがほのぼのとしていてとても良かった。とても穏やかで安定したトーンなので進行していくので、聞きながら何かやってもいいし、番組に集中して演歌を楽しんでもいいし、全然耳障りにならない穏やかな番組だなと思った。

・個人的にはとても好きな番組でした。

・改善点として、トークの時のマイクボリュームが小さくて、音楽の時が大きく、バランスが気になった。極力同じぐらいにボリュームがなると聞きやすいなと思った。

・せっかく演歌の専門番組なので、演歌についての話(歌手や曲のバックグラウンド、作詞家、作曲家のこととか、曲の豆知識的なお話)が聞きたいと思った。

・とても落ち着いた番組で、大人向けの番組だなという印象だった。

・トーク部分について、非常に耳障りのいい、聞き心地のいいような話し方をされていて良かった。

・聞いていて演歌っていいな、いいなと思う年になったんだなというのを痛感させてもらった。

・曲の紹介では、もう少し歌詞の紹介とかあってもいいのかなと思った。

・全体的に淡々としていて、もう少し感情移入ではないが、もっとメリハリなんかがあると、番組の中での盛り上がりなどが出てくるかなというふうに思った。

・再放送が日曜日の夜で一番遅い時間なので、もう少し早い時間の方が聴いてくれる人が増えるのではないかなと思った(演歌は年配の方が多いと思うので)。

・とても穏やかな声で聞いてほっこりした。

・ご近所に住んでいるお母さんが喋ってるみたいな感覚で、プロの声とはまた違ってフレンドリーな感じがしていいなと思った。

・私自身は演歌初心者なので、知らない演歌が長い時間流れていると、あんまり聞いてられないところもあったので、演歌初心者のリスナー目線としては、曲の前に紹介があって、その演歌の一部を流して、またエピソード紹介などがあって・・・と進行してもらえると集中して聴けたかなというふうに感じた。

・まりさんの落ち着いた話し方が印象的で、全体的にとっても聞きやすかった

・語尾を抑えた穏やかな口調は演歌の雰囲気ともよく合っており、ゆったりとした気持ちで耳を傾けることができる番組だった。

・トークの内容は季節感のある身近な話題が多く、冬至のゆず湯やかぼちゃを食べるといった日本の伝統を意識した話題から、和の文化を大切にしていることが伝わり、演歌の世界観とも重なるところがあった。

・音楽とトークのバランスも良かった。

- ・タイトルの通り演歌を中心に構成されており、これまでの音楽番組と比べて方向性が分かりやすかった。
- ・選曲も季節を意識したものが多く、普段あまり演歌に親しみのないリスナーでも、日本らしい情緒や味わいのようなものを感じることができ、演歌の良さを知るきっかけになるのではと思った。
- ・トークと曲の音量バランスの不安定さが少し気になった。
- ・本放送が火曜日の午前 11 時 30 分だが、番組の落ち着いた雰囲気を見ると、お昼前の慌ただしい時間帯よりも、15 時前後などの午後から一息つける時間の方が番組の良さが活かされるのではないかと思う。

7. 審議機関の答申または意見に対して取った措置

番組担当者に通知

8. 意見概要の公表

弊社ホームページ及び番組内にて公表